

共用品推進機構だより 2015年06月05日(09)

目次

(34) 共用品推進機構関連記事

▽「新しいISO規格：障害市場一次の大きな消費者の分野」

▽「ブログを更新しました！」

(35) 賛助会員ニュース

▽「情報通ロボとお話し／タカラトミー」

(36) サービス関連記事

▽「図書館 オーディオブックづくり 文字の音声化 クラウドで
／東芝ソリューション」

(37) その他、各種関連記事

▽「薬の誤飲、高齢者が多く 新たな包装 探る必要」

▽「変わる労働関連法 障害者雇用中小に広がる」

(38) 新刊紹介

▽『日本の手話・形で覚える手話入門 あの手話の意味はなんだろう？』

▽『ぼくは、チューズデー 介助犬チューズデーのいちにち』

▽『はじめての療育 わかって安心！』

▽『輝いて生きる 高次脳機能障害当事者からの発信』

(34) 共用品推進機構関連記事

▼「新しいISO規格：障害市場一次の大きな消費者の分野」

「次の大きなビジネスチャンスが何であるか興味がありますか？」という書き出しで始まる日経アジアレビューの記事は、新しい ISO（国際標準化機構）規格である ISO/IEC ガイド 71 の改訂版（規格におけるアクセシビリティ配慮のためのガイド）が発行されたことを紹介し、このガイドが扱っているアクセシビリティがビジネスを拡大するのにも役立つと伝えています。ガイド 71 改訂チームの委員長である跡見学園女子大学の宮崎教授は「ガイドの推奨事項を実行することによって得ることができるアジアの公共部門と民間部門の利益」について説明し、その中でアクセシビリティがビジネスにとっても良いという実例として、共用品推進機構が毎年実施しているアクセシブルデザイン製品とサービスの市場規模調査結果を示されています。またこの記事は「障害分野の市場は次の大きな消費者分野である」というアメリカの格付け会社の発言を取り上げ、この会社が推測する市場規模を紹介しています。そしてこの記事の結論として、ガイド 71 は儲かる・新しい市場を開くとともに、アクセシビリティの問題を抱える多くの人々に対する効果的なツールである、としています。最後に「素晴らしいことは、ISO/IEC ガイド 71 それ自身が非常にアクセシブルであり、ISO、IEC、ITU のウェブサイトから無料で入手できる」と結んでいます。紹介記事の該当のアドレスは以下です。

<http://asia.nikkei.com/Business/Trends/Disability-market-the-next-big-consumer-segment>

（日経アジアレビューより一部要約）

▼「ブログを更新しました！」

・帝京科学大学の学生の皆さんに講義

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

（35）賛助会員ニュース

▼「情報通ロボとお話し／タカラトミー」

タカラトミーは4日、人と自然な会話ができる玩具「OHaNAS（オハナス）」をNTTドコモと共同開発したと発表した。ドコモのクラウド型システムとつながり、最新の話題や天気などインターネット上の情報を踏まえたやりとりが楽しめる。ロボ玩具「オムニボット」シリーズの最新作として10月に発売す

る。

モバイル端末を通じてオハナスをドコモのクラウド型言語処理システムに接続して、話しかけると発言の意図を分析し会話ができる。

ドコモは現在話しかけるだけで情報を調べて教えてくれる音声操作サービス「しゃべってコンシェル」を自社の端末を中心に展開している。このほど「しゃべってコンシェル」の技術を改良したクラウドシステム「自然対話プラットフォーム」を開発し、タカラトミーに提供した。

(日経産業新聞 6月5日6面より抜粋)

(36) サービス関連記事

▼「図書館 オーディオブックづくり 文字の音声化 クラウドで ／東芝ソリューション」

東芝グループの東芝ソリューションは図書館向けに書籍の内容を音声で聞く「オーディオブック」作りを支援するデータサービスを始める。文字データを音声に変換するクラウドサービスを活用。従来は数ヶ月かかっていた製作時間を2週間に短縮できる。2016年の障害者差別解消法の施行を控え、図書館が視覚障害者らが利用しやすい環境づくりを進めていることに対応する。

(日経産業新聞 6月5日6面より抜粋)

(37) その他、各種関連記事

▼「薬の誤飲、高齢者が多く 新たな包装 探る必要」

病院でもらう薬は、銀のアルミ紙の上に透明な樹脂でカバーされたプレス・スルー・パッケージ (PTP) の包装が多い。PTP包装は密閉性が高くてコストが安価なため、錠剤やカプセルで広く使われている。

子供の誤飲が問題視され、消費者庁は昨年、子供が開けにくい容器の導入準備を始めた。包装を厚くするなどの対策を取る方針だ。

だが、PTPの問題は子供の誤飲だけでない。誤飲で最も危険なのは、包装された薬をそのまま飲み込んでしまうことで、高齢者が多い。

PTP は 1 錠ごとに切り離すと角が鋭くなり、誤って飲むと食道や小腸、大腸を傷つける可能性が高い。症状が出るまで、誤飲に気づかず、重症化するケースもある。

樹脂の種類は増え密閉技術は進んでいる。30 年近く使われてきた PTP 以外に、新たな包装の方法を探ってみる選択肢も考えられるはずだ。

(日経産業新聞 5 月 26 日 21 面より抜粋)

▼「変わる労働関連法 障害者雇用中小に広がる」

障害者雇用促進法は従業員数に応じて雇わなければならない身体・知的障害者の割合を法定雇用率として定めている。現在は 2.0% で、その人数に満たない場合は不足人数に応じて納付金を収める。従来は従業員数 200 人超の企業が納付する対象だったのに対し、4 月から 100 人超の企業からに広がった。

厚生労働省の障害者雇用状況の集計結果によると、2014 年 6 月 1 日時点で法定雇用率を達成した企業の割合は 44.7% だった。

厚労省は 18 年 4 月から精神障害者の雇用も義務付ける方針だ。企業は単に法令遵守（コンプライアンス）という観点だけでなく、女性活用などとあわせて働き方や人材の多様性（ダイバーシティ）を推進する取り組みと一体で考える必要がある。

(日経産業新聞 6 月 4 日 2 面より抜粋)

(38) 新刊紹介

▼『日本の手話・形で覚える手話入門 あの手話の意味はなんだろう?』

学校や地域の手話サークルで手話を学ぶ教材として、また、教師や手話通訳者養成・研修、資格認定講習のテキストとして最適な手話入門。手話について概説した「理論編」と、イラストを通して手話を覚える「入門編」で構成。

著：竹村茂（たけむら・しげる）

絵：たかねきやら

発行：ジアース教育新社

本体価格：2500 円（税別）

ISBN：978-4-86371-308-6

▼『ぼくは、チューズデー 介助犬チューズデーのいちにち』

けがをして、今までと同じ暮らしができなくなった元軍人のルイス。そんな彼を救ったのが、介助犬チューズデーでした。朝、ルイスを起こしたり、一緒にいろいろな場所へ行ったり…。介助犬の仕事とふたりの生活を描く写真絵本。

写真：ダン・ディオソ

文：ルイス・カルロス・モンタルバン

発行：ほるぷ出版

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-593-50575-3

▼『はじめての療育 わかって安心！』

じっとしてられない、相手の気持ちがわからない、こだわりが強い…。発達障害の子どものエピソードを漫画で紹介。子どもの困った行動の”なぜ”の答えと対応がわかる一冊。書き込みページあり。

著：藤原里美（ふじわら・さとみ）

漫画：おちやづけ

発行：学研教育出版

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-05-406032-6

▼『輝いて生きる 高次脳機能障害当事者からの発信』

夢中になるものをもてるようになると、人は生きいきしてきます。ゆっくりと前進する高次脳機能障害当事者と家族の思いをはじめ、高次脳機能障害の症状&対処法、全国の家族会・事業所などを紹介する。

編著：橋本圭司（はしもと・けいじ）

執筆：石井雅史（いしい・まさし）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-86342-164-6

(編集後記)

- 仕事が一段落した時、または時間に少し余裕がある時には、「業界地図」といった題名のムック本のページをぱらぱらとめくり眺めるのが習慣の一つになっています。
- 業界ごとになっているページをめくるたび、「この分野の人たちとはこんな連携ができた!」、「まだ、何の連携もできていない!」と、「!」を頭に浮かべながら眺めています。
- 大多数のページが、「連携ができた」になるのはいつだろう!と、3度目の「!」を、頭に浮かべながら本を閉じ、次の仕事に向かっています。

(星川 安之)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>